

## 平成 28 年度第 2 回総合教育会議 会議録

1. 日時	平成 29 年 2 月 16 日 (木) (午後 2 時から)
1. 場所	市来庁舎 2 階庁議室
1. 出席者	田畑誠一市長  富永伸博委員長・徳重涼子委員・福田恵一委員 有村孝教育長  満菌政策課長・出水政策課長補佐 木下教育委員会総務課長 書記 後潟教育委員会総務課長補佐
1. 協議事項	いちき串木野市第 2 次総合計画基本構想について
木下課長	只今から平成 28 年度第 2 回総合教育会議を開催します。 市長挨拶をお願いします。  (市長挨拶)
木下課長	早速協議に入ってまいります。協議の進行を市長お願いいたします。
田畑市長	それでは、引き続き、会次第に従って、会議を進めて参ります。 協議題 「いちき串木野市第 2 次総合計画基本構想について」を議題と致します。事務局の説明をお願いします。
満菌政策課長	政策課の方から、説明をさせていただきます。 第 2 次総合計画基本構想につきましては、平成 29 年度から 10 年間の基本構想ということで調整を進めて参りました。12 月議会に上程し、1 月末に議員の皆様参加により、特別委員会を開催していただき審議が終了したところであります。 基本的には、第 1 次構想を引き継ぐ形ではありますが、内容等については、出水補佐に説明をいたさせます。
出水政策課長補佐	基本構想の策定経過につきまして、まず、説明させていただきます。 第 1 次総合計画が、今年度、最終年度となることから、昨年より第 2 次総合計画の策定の取り組みを行っております。

平成 27 年には、16 歳以上の市民 2,000 人を対象としたアンケート調査を実施し、今年度に入って、全ての地区まちづくり協議会へ伺い、まちづくり計画を中心にヒアリングをおこないました。

この基本構想については、6 月に審議会を設置しました。

審議会の構成といたしましては、行政委員会として教育委員会、農業委員会、関係団体としまして、まちづくり協議会や女性連、商工会議所や漁協、農協などの他、鹿児島地域振興局と公募委員の合計 20 名で構成しております。教育委員会からは、宮之原様にご参加をいただいております。

6 回にわたる審議会の開催により、10 月に答申をいただき、その中で、11 項目の一部見直しや、23 件のご意見・ご要望をいただきました。

その後、先ほど説明いたしました、12 月議会に上程し、1 月末に特別委員会にて審議・可決をいただいております、3 月議会で決定する予定となっております。

それでは、お配りしております資料に基づいて説明いたします。

A3 でお配りしております体系図が概略となります。

総合計画は、基本構想 10 ヶ年とその推進の為に、基本計画、前期 5 年間、後期 5 年間を定め、この基本計画の実施のための具体的事業を記載した実施計画の 3 階建の構成となっております。体系図には、基本構想と基本計画の関連について記載しております。

基本的には、第 1 次総合計画のスタイルや将来都市像などは引き継ぐものでありますが、この中では、基本理念、真ん中下にあります重点プログラムについて変更をしており、これにつきましては、のちほど説明させていただきます。

体系の中では、左から 3 列目の基本方針の所が、施策の大綱の節にあたる部分で、ご覧のように、《 1. 市民と行政とのパートナーシップによる「共生・協働のまちづくり」》から、一番下の《 4. 利便性が高く美しいまちを創造する「快適な環境のまちづくり」》の 4 分類となっております。その横の 4 列目の「分類別振興方向」のところは、各基本方針に盛り込んである内容を大きく分類してあり、例えば、「基本方針 1」の中には、「1. コミュニティー」、「2. 行財政」に係る記述があります。

また、この 2 つの分類の中には、右の列に基本計画の中に記載している、それぞれ個別の施策の項目が盛り込まれております。例えば、「1. コミュニティー」の下には、「1 市民参画と協働の推進」から、「4 人権尊重・男女共同参画社会の実現」の 4 項目、真ん中あたりの「3. 教育文化」で申し上げますと、「1. 生涯学習の充実」から「6. 国際交流の充実」という形で 6 項目が盛り込まれております。

それでは、基本構想本文の 3 ページから説明させていただきます。

「第 1 編、第 1 章、第 1 節の策定の趣旨」としましては、これまで

の10年を踏まえ、また、時代の潮流、本市の行政課題に対応し、今後10年間の本市の進むべき方向の基本的な指針として基本構想を定めようとするもので、策定には、自治基本条例に基づき市民参画を得て策定するものであります。

「第2節」については、計画期間を平成29年度から38年度までの10年間としております。

「第3節」は、計画の性格、「第4節」は計画の構成、4ページを開けていただいて、「第2章」いちき串木野市の特性、5ページ「第3章」で「時代の潮流と本市の現状」として、6ページから7ページにかけてになりますが、「第2節」本市の現状では、人口減少、少子高齢化の現状、これら本市の置かれている現状、また取り組むべき課題について整理しております。

8ページをお開きください。

「第1章、第1節基本理念」が、第1次と変わっております。

基本理念は、基本構想の最も基本となる考え方ということで、構想をどういう考え方、どういう理想、目標のもとに構築するかという根幹の考え方、理念と位置づけ、時代の潮流、本市の現状などを踏まえ、今後、どういった考え方で施策を進めるのかを集約した表現として、記載しました。

第1次総合計画では、合併後の新市の特性の確立と一体性の醸成の観点から、「ひとが輝く、地域が輝く、地域ブランドによる自立した、すこやかな都市の創造」と設定しておりましたが、第2次では、少子高齢化、人口減少が進むなか、国が進める地方創生に呼応しつつ、本市の魅力を市民が享受するとともに、他の地域からも本市の魅力が人を引き付ける地域となるまちづくりを、進めるということで、「住み続けたい、住んでみたいまちづくり」を基本理念といたしました。

これからの本市は、今生活する中で、そこに住む人々が、住み続けたいと思うまち、住んでよかったと実感できるような町でありたい、そしてそのことが、外から見て、魅力あるまち、住んでみたいまちと思えるようなまちとなるのではないかと、そういうまちを目指して、基本理念を掲げさせていただいたところであります。

「第2節、将来都市像」であります。

基本理念に従って、将来、本市が施策を進める姿は、どのような姿を目指すのかというものが、将来都市像と位置づけております。将来都市像は、第2次も第1次と同様の「人が輝き、文化の薫る、世界に拓かれたまち」を掲げました。基本理念に沿って、本市の歴史や文化、地理的特性を生かしつつ、目指すべき都市の姿は、これからも同じであると考えております。

14ページをお開きください。

「3. 教育文化」を掲げております。

他人を思いやり、生命や自然を大切に作る心など豊かな心を持ち、新しい課題に積極果敢に挑戦する気概や困難を乗り越えることのできる力が求められています。

このことから、本市では「ふるさとを愛し、夢と志を持ち、心豊かでたくましい人づくり」を基本目標に掲げ、「知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたって意欲的に自己実現を目指す人間」、「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた郷土を愛する態度を養い、これからの社会づくりに貢献できる人間」の育成を目指します。と掲げております。

その中で、「1. 生涯学習の充実」、「2. 学校教育の充実」、「3. 社会教育の充実」、「4. 地域文化の保存・継承」「5. スポーツの充実」、「6. 国際交流の充実」を掲げさせて頂いております。

第1次の時には、「総合運動公園の整備」というのがございましたが、多目的グラウンド、テニスコート、総合体育館等が建設され、整備が進む中で、一つの総合運動公園としての節目を迎えたという考え方から、この項目を削除しております。ただ、運動公園等の利用促進につきましては、「5. スポーツの充実」の中で、利用促進等を図りつつ進めていきたいという考え方で整理しているところであります。

23ページをお開きください。

「第4章 重点プログラム」につきましては、「人が輝き 文化の薫る 世界に拓かれたまち」を実現するため、様々な施策を横断的に機能させながら重点的に取り組むべき、本市の特徴的な施策であります。

第1次計画では、新市創生プログラムとして、合併後のまちづくり、新たなまちとしての個性づくりを意識したプログラムを設定しておりましたが、第2次計画では、新たな10年に向けて、更に本市が他のまちと異なる、本市ならではの秀でた特色により重点的に磨きをかけ、進化させるべき取り組みを「重点プログラム」として掲げました。

重点プログラムとしましては、「食のまちプログラム」、「環境維新プログラム」、「国際化推進プログラム」、「ひとづくりプログラム」の4つといたしました。

「第1節、食のまちプログラム」では、本市の特色ある取り組みである食のまちづくりを市の総力を挙げて取り組むこととし、その取り組みを通して、地域の活性化、産業振興、医療、福祉、教育、観光など様々な場面で食をキーワードとして施策を展開するものです。

「第2節、環境維新プログラム」では、多様なエネルギー源の確保や、環境負荷軽減の取り組み、再生可能エネルギーの利用促進、地域電力の導入、エネルギーの地産地消の取り組みなどを通して、将来の社会構造、産業構造の変革、人口減少・少子高齢化による市民サービスの変化へ対応する取り組みをいち早く、市全体で推進しようとするものであります。

	<p>24ページをお開きください。</p> <p>「第3節、国際化推進プログラム」では、本市の歴史、地理的特性の中で育まれている、国際交流、国際化について、人材育成、教育面だけではなく、産業振興、地域活性化の面からグローバル化、ボーダレス化する国際社会に対応した施策を推進し、都市像に掲げる「世界に拓かれた都市」の実現を目指すプログラムであります。</p> <p>「第4節、ひとづくりプログラム」では、将来を担う若い世代を中心とした人材育成、人づくりは、市の根幹をなす重要な事柄として位置付け、ひとづくりが本市の飛躍と発展の原動力となるものであります。そのため、特色ある教育の実施で、児童生徒の学力向上、豊かな心と健やかな体づくりを進めます。また、子どもを産み育てる環境の充実を図ること、また、地域の高校活性化や国際交流による人材育成、リーダー育成を各施策の中で推進していこうとする取り組みとして掲げているところであります。</p> <p>以上が、総合計画基本構想の説明になります。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
田畑市長	<p>以上、おおまかな説明ではありましたが、委員の皆様からご意見等ございませんか。</p>
福田委員	<p>1次総合計画の中では、国際交流の充実は無かったようですが、今回、新しく入ったと捉えてよろしいですか。</p>
出水政策課長 補佐	<p>教育文化の中においては、第1次におきましても、国際交流の充実はございました。専ら、教育人材の育成といった部分でこれまでの交流について、掲げていたところであります。</p> <p>17ページの、産業経済の部分になりますが、「10、海外との経済交流」ということで、国際交流の側面が、人による人材の育成にであったり、人との交流がある一方で、経済の交流があると思います。</p> <p>そうしたことから、従前、教育文化のほうに1本化しておりましたが、今回、国際交流という項目を、教育文化と、産業経済に特化した形で、別枠でを設けて整理させていただいております。</p>
福田委員	<p>東南アジアの文言がありますが、新しい計画としては具体的に何かありますか。</p>
満菌政策課長	<p>切り口を、先ほど申し上げましたように、国際交流というのを、人材育成とか人の交流以外に、経済的な交流と両方合わせてあるだろうということ、その両方を、推し進めるのが、本市の一つの特色であるということから、国際交流の教育のほうでは、来年度以降について</p>

<p>田畑市長</p>	<p>は、「英語のまちづくり」に取り組んでいただいておりますが、これをより一層充実するため、新たに国際交流員を ALT とは別に配置する取り組みをいたします。</p> <p>経済への関係では、東南アジア等に「おいしい JAPAN」ということで、市内の、まぐろ、つけ揚げ、焼酎等売り出す経済的な交流を活発にする取り組みを一層推進していきたいと考えております。</p> <p>それが、「国際推進プログラム」という重点的な取り組みということで位置づけさせていただいております。</p> <p>今まさに国際化時代であります。国際化時代に備え、併せて本市は「食のまち」として町おこしをしようとして取り組んでおります。</p> <p>2年前から、シンガポールの「おいしい JAPAN」に参加しております。今年から職員を1名、2年間シンガポールに派遣いたします。そのために、この1年間は東京で研修を積んでおります。今年からいよいよ2年間シンガポールへ行くこととなります。</p> <p>それが、産業であり、国際交流であります。また、皆さんが組み込まれておられる「英語のまち」を一步進めて、英語圏の方を招聘して、国際交流をもっと盛んにしていこうとしております。併せて、姉妹都市サリナス市とも交流を続けてまいります。</p>
<p>福田委員</p>	<p>その他、特に変わった面がありましたら、説明していただきたいと思っております。</p>
<p>出水政策課長 補佐</p>	<p>23ページに、「環境維新プログラム」を掲げさせていただいております。エネルギー政策については、原発事故等も踏まえて、各種見直しが行なわれておりますが、中でも、電力のシステム改革によりまして、電力の小売りの自由化が行なわれております。その中で、本市も、「いちき串木野電力」ということで、昨年10月に市が51%出資して、電力会社を立ち上げております。電気料金を安く抑えて、その利益で市民サービスに繋がられないかという取り組みを行っております。</p> <p>このようなエネルギー政策の中で、いろいろな取り組みをしながら、産業経済にも繋がっていけないかという取り組みを行っております。これが、一つの特徴的なところかなと思っております。</p>
<p>満菌政策課長</p>	<p>学校、コミュニティセンター等は、すでに「いちき串木野電力」に変わっております。</p> <p>この収益で、2歳未満の子どもさんを持っている家庭は2年間基本料金を無料にするなど、市民サービスに取り組んでおりますが、このような試みが、この「環境維新プログラム」に入っているところであります。</p>

福田委員	<p>教育の分野だけではなく、市全体としての「英語のまち」の雰囲気づくりなどについて、審議会の中で話はありませんでしたか。</p>
満園政策課長	<p>まさに、委員がおっしゃるようなことがございました。教育分野だけの「英語のまち」では不十分ではないか。子どもから大人まで広く英語に親しむ施策、また、英語の案内板の必要があるのではないか等の話があったことから、今回から、先ほど申しあげました、英語圏の国際交流員を招聘いたしまして、小さなお子さんから、社会人までの英語の普及への取り組みや、資料等の英訳、町の案内など、いろんな面で、教育以外でも広く英語が浸透していく取り組みをしていきたいということで、国際交流員の導入をすることとしております。</p>
出水政策課長 補佐	<p>今回お示ししましたのは、基本構想であります。基本計画も併せて進めております。国際交流の充実という中では、国際交流員の招聘、外国人に解りやすい案内表示など、幅を広げて取り組んでいく計画をしているところであります。</p>
田畑市長	<p>その他ご意見等はありませんか。 抜粋して資料をまとめてありますので、お目通ししていただきまして、今後いろいろとご意見等を賜われればと思います。</p>
田畑市長	<p>次に、その他について何かございませんか。 事務局からはありませんか。</p>
木下課長	<p>事務局からはありません。</p>
田畑市長	<p>無ければ、私のほうから、平成 29 年度の当初予算の概要について説明したいと思います。 昨日、記者会見しました。新聞をご覧になったかと思えます。 資料の 1 ページをご覧ください。 平成 29 年度の一般会計当初予算は、167 億 7,300 万円を計上しております。 平成 17 年の合併以後、最大規模の予算となります。 これは、平成 26 年度から実施しております最終処分場建設など普通建設事業費の増 13 億 6,492 万円による影響となっております。うち最終処分場建設事業費は、9 億 8,410 万円であります。 これに加えて、先ほど説明いたしました、第 2 次総合計画、平成 29 年から 38 年度において新たな 10 年に向け飛躍するスタートの年として、「住み続けたいまち、住んでみたいまちづくり」の実現に向けた施策を重点的に取り組む予算としております。</p>

具体的には、移住・定住対策、空き家対策、結婚支援策により定住人口の拡大を図るとともに、本市の特長を生かした特産品の開発や PR による食のまちづくり事業を実施することとしております。

それでは、平成 29 年度一般会計当初予算の具体的内容について、ご説明いたします。

資料 2 ページをご覧ください。

2・3 ページは、「29 年度一般会計の姿」についてであります。

ここでは、歳入・歳出の主な増減要因をお示ししてありますので、後ほど、お目通し頂ければと思います。

資料 4 ページをご覧ください。

29 年度の主な事業について説明いたします。

本年度は先ほど説明しましたように、

○「移住・定住・空き家対策」に力をいれることにしております。

内容といたしましては、

- ・定住相談員の配置やお試し住宅の設置。
- ・空き家の利用促進を図るため、空き家バンクを創設し、登録した空き家のリフォーム等に対する補助金の新設であります。

○「結婚・子育て、教育支援策」として、

- ・結婚に伴う新婚生活に係る費用に対する補助金の新設。
- ・子育て世帯への支援を行うため、情報配信モバイルサービス事業の導入。
- ・全公立小中学校・幼稚園への空調設備の整備。
- ・串木野・市来地域の学校給食センター統合に伴う新学校給食センターの建設。
- ・「英語のまち」の充実を図るため、国際交流員の招致。
- ・市来農芸高等学校生徒への寮生活や地域支援活動に対する補助金の新設。
- ・本市出身の歌人萬造寺齊の功績を顕彰するため開催される短歌大会に対する補助。

○「安心・安全なまちづくり対策」として、

- ・災害時の対応の迅速化などを図るため、災害対策本部の機能を持つ防災センター等の整備。
- ・羽島地区への光ブロードバンド情報基盤整備に対する補助。

以上主な事業について説明申し上げましたが、時間になりましたので、資料については後ほどお目通し頂ければと思います。

田畑市長

その他、何かありませんか。無ければ、以上で平成 28 年度第 2 回総合教育会議を閉会いたします。 ご苦労様でした。

(午後 2 時 5 0 分)